

浮田光治コレクション

手拭万華鏡

— 名もなき職人たちの手仕事 —

平成二十九年六月二十四日(土)〜七月二十三日(日)

●会期中の休館日／毎週火曜日

■開館時間／午前十時〜午後五時(入館は午後四時三十分まで)


■会場／大阪くらしの今昔館八階企画展示室

■入館料／企画展のみ三〇〇円

一 一般…常設展+企画展八百円(団体七〇〇円)
 高大生…常設展+企画展五〇〇円(要学生証提示 団体四〇〇円)

*団体は二十名以上 中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方、
 大阪市内在住の六十五歳以上の方は無料(要証明書提示)

主催／大阪くらしの今昔館

大阪市立住まいのミュージアム
大阪くらしの今昔館 

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センター 8階
 TEL 06-6242-1170 郵 FAX 06-6354-8601 <http://konjyakukan.com/>



手拭万華鏡

—名もなき職人たちの手仕事—

手拭は、江戸時代以来、庶民の暮らしになくてはならない日用品でした。食器や手を拭く、頭を覆うなどの他、年々始の挨拶や土産などの贈答用、会社や商店の広告、さらに個性や雰囲気を出し出すお洒落用。様々な用途に使われてきました。

手拭をつくる工程は下絵、型彫り、染めに分かれ、それぞれの職人が手仕事で作っていました。手間ひまがかかりますが、手拭は安価な日用品。使い込まれて図柄が分からない程になれば、最後は雑巾やはたきなどの掃除道具に転用されました。

その一方で、大正期から昭和戦前にかけて、富裕な愛好家や旦那衆に向け、高級手拭が作られ頒布されました。それらは、三都の名所、歌舞伎や文楽、浮世絵、カフェやダンスホールといった街角の一場面など、魅力に富んだ図柄が色鮮やかに染めあげられ、芸術品ともいえるものでした。このような高級手拭のなかには高名な染色作家が手がけたものもありますが、多くは無名の職人の手によるものでした。

本展は手拭収集家浮田光治氏のコレクションの中から、京都の舞妓手拭や大阪城をはじめとする百名城、写楽や広重などの浮世絵手拭のほか、染色作家の作品を含む特に秀逸な二〇〇点を厳選して展示します。名も無き職人たちの手仕事—明治・大正・昭和の染手拭の魅力をご覧ください。

◆浮田光治コレクション

手拭収集家浮田光治氏(明治四十五年(平成十三年)の約五〇〇〇点におよぶ手拭コレクション。明治四十五年、船場の文庫紙商の次男として生まれる。旧制中学・現大阪市立東商業高等学校卒業後、船場のぼんではありながら当時としては珍しく、京都の木綿問屋へ奉公に出る。別家を許されて独立するまでの十一年間、一貫して手拭を担当し、そのかわら手拭の収集を始める。独立後は大阪で手拭やタオルの卸問屋を経営。仕事を引退してからも収集を続け、自ら手拭のデザインも手がけた。



大丸百貨店広告手拭



大阪築城四〇〇年まつり協賛
天王寺文化人会



菅川泰蔵「飛鳥の民家」



安藤広重「浅草金龍山」



芹沢銈介「嵯峨の竹」

関連イベント

●講演会「手拭をかたる」

(講師)

「父の手拭 よもやま話」佐野恵美子氏

「浮田コレクションの手拭—百いろう会手拭を中心に—」近江 晴子氏(大阪天満宮文化研究所)

- 日 時/七月五日(水) 午後二時三十分〜午後三時(受付は午後二時開始)
- 会場/住まい情報センター三階ホール ●定員/一五〇名
- 参加方法/インターネット・大阪くらしの今昔館HP内、企画展情報からお申し込みください。
- ハガキ、FAX・氏名(フリガナ)・年齢・参加人数・電話番号を明記の上「手拭をかたる」係へお申し込みください。 ※参加証は発行いたしません。

●ワークショップ①「手拭で包む」

- 日 時/七月七日(金)・七月十四日(金)・七月二十一日(金) 各日とも午後一時三十分〜午後三時三十分
- 会場/大阪くらしの今昔館八階企画展示室
- 参加費/無料*ただし企画展観覧料が必要となります。

●ワークショップ②「染め手拭であずま袋をつくる」

染め手拭を糸で縫い合わせてあずま袋を作ります。長めの紐をつけて肩から掛けられるように仕上げます。

- 日 時/七月八日(土) 午後一時三十分〜各自完成次第終了(三十分程度)
 - 会場/大阪くらしの今昔館八階企画展示室 ●定員/一五名
 - 参加費/一〇〇〇円(手拭などの材料費を含みます) 企画展観覧料は別途必要となります。
- *参加希望の方は、当日インフォメーションにて参加券を購入してください(十二時販売開始)
*針を使用しますので、中学生以下の方は保護者同伴でご参加ください。

交通

- 電車の場合/地下鉄谷町線・堺筋線、阪急線「天神橋筋六丁目」駅下車三号出口より連絡、エレベーターで八階へ。JR大阪環状線「天満」駅から北へ徒歩七分。
- お車の場合/阪神高速守口線「長柄」出口・都島通経由、約五〇〇m。



大阪市立住まのミュージアム

大阪くらしの今昔館

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 住まい情報センター8階
TEL 06-6242-1170代 FAX 06-6354-8601
http://konjyakukan.com/

大阪市立住まいのミュージアム

大阪くらしの今昔館 こじんかん



企画展

手拭万華鏡

2017

06.29

13:15

¥300

02-00167

企画展「浮田光治コレクション 手拭万華鏡 -名もなき職人たちの手仕事-」 展示品リスト

会期：平成29年6月24日（土）～7月23日（日）

大阪くらしの今昔館

展示場所	資料名	備考	展示場所	資料名	備考
ハイケース①	「鯉のぼり」江戸末～明治初期		壁面②	「浪花ことば大番附」	
壁面①	「りんどう」浮田光治			「財布手拭」 大正期	
	「あじさい」竹久夢二 画		「かげ画」即興かけぼし尽し		
壁面ケース①	「ゑんむすび」		ローケース①	手拭の型紙	
	「船鉾」 昭和初期	百いろ会		浴衣の型紙	
	「破れ傘」 昭和初期	百いろ会	手拭図案集		
	「梅雨の晴れ間」 昭和初期	百いろ会	浴衣生地見本		
	「モダンガール」 昭和初期	百いろ会	「京都十二月」 屏風仕立て 昭和7年頃 (右隻) 一月 建仁寺十日戎 二月 廬山寺節分 三月 祇園都踊り 四月 島原太夫道中 五月 葵祭り 六月 藤森祭り (左隻) 七月 祇園祭り 八月 松ヶ崎題目踊り 九月 石清水放生会 十月 広隆寺牛祭り 十一月 八坂の舞楽 十二月 南座顔見世	百いろ会	
	「狐と豆絞り」 昭和初期	百いろ会			
	「垣間覗」 昭和初期	百いろ会			
	「蛭狩り」 前川千帆 画 昭和初期	百いろ会			
	「黒ねこ」 昭和初期	百いろ会			
	「安来節」二枚のれん 昭和初期	百いろ会			
	「ガイコツ 外面如菩薩、内面如夜叉」 昭和初期	百いろ会			
	「モダン」 昭和初期	百いろ会			
	大津絵「雷公の太鼓釣り」				
	大津絵「瓢箪鯨」				
	大津絵「藤娘」				
	「ラヂオ体操の会」 昭和10年				
	「昔恋しい銀座の柳」 浮田光治				
	酒席かむり手拭 大正期				
	酒席かむり手拭 大正期				
	廣野人形店の印手拭 堂島手拭 明治中期				
	魚佐旅館手拭 横山隆一 画				
	浮田文庫紙店の広告手拭（浮田光治の生家）				
	「大阪築城四〇〇年まつり」尼崎利太郎 画 昭和58年				
	「四天王寺舞楽・蘭陵王」尼崎利太郎 画				
	「住吉踊り」 菅楯彦 画 昭和中期				
	「みのや手拭」 山東京伝 画 明治期頃				
	「DAIMARU」大丸百貨店広告手拭				
	大阪みやげ 通天閣・大阪城				
	「万国博 EXPO70」 昭和45年				
	「大阪築城400年」 昭和58年				
「旧四ツ橋」 尼崎利太郎 画					
「心齋橋進出九十周年記念」そごう広告手拭					
「旧鴻池邸」					
「万博パビリオン」 昭和45年					
「かしまし娘」					
ぬり絵・着せ替えのキャラクター					
壁面ケース②	枕屏風 二曲一双		壁面ケース②	「獅子がしら」 昭和初期	百いろ会
	(右隻) 「大原女」 昭和初期	百いろ会		「浅草金龍山」安藤広重 昭和初期	百いろ会
				「宵宮」 昭和初期	百いろ会
				(左隻) 「円窓の紅葉」 昭和初期	さくら井屋製
	「舞妓手拭」 昭和初期	百いろ会			
	「銃後の護り」 昭和13年	百いろ会			
	「舞妓手拭」 昭和初期	さくら井屋製			
	「行く年 来る年」 川上桂司 画	屏風仕立て			
	「舞妓と天橋立」				
	「天橋立」				
	「竜安寺」				
	「夏の京の味」				
のれん仕立て「京のいえ」					
「嵐山渡月橋」					
「長刀鉾」					
「祇園祭 月鉾巡行之図」					
「宇治 鳳凰堂」					

※資料は全て佐野恵美子氏所蔵品

展示場所	資料名	備考	展示場所	資料名	備考
壁面	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 筑前 福岡城	福岡県	壁 面 ケ ー ス ③	京名所十景「宇治」 昭和7年頃	さくら井屋製
	豊後 杵築城	大分県		京名所十景「洛西嵯峨」 昭和7年頃	さくら井屋製
	安芸 広島城	広島県		「飛鳥の民家」 皆川泰蔵 画	
	伊予 松山城	愛媛県		「保津川下り」 中堂憲一 画	
	山城 淀城	京都府		「清水の月」 稲垣稔次郎 画 昭和30年代頃	
	播磨 明石城	兵庫県		「梅宮」 稲垣稔次郎 画 昭和30年代頃	
	大和 高取城	奈良県		「扇面に松」 稲垣稔次郎 画 昭和40年代頃	
	美濃 岐阜城	岐阜県		「山鉾巡行」 黒崎彰 画	
	越前 大野城	福井県		「くらまの初寅」 黒崎彰 画	
	駿河 田中城	静岡県		「手鞠」 稲垣稔次郎 画 昭和40年代頃	
	陸前 仙台城	宮城県		「二条城」 稲垣稔次郎 画 昭和30年代頃	
	常陸 水戸城	茨城県		「能面」 稲垣稔次郎 画 昭和40年代頃	
ローケース②	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 肥前 唐津城	佐賀県		「白川女」 黒田暢 画	
	羽前 山形城	山形県		「伏見人形」 黒田暢 画	
	周防 岩国城	山口県		「詩仙堂とししおどし」 岸田竹史 画	
	豊前 小倉城	福岡県		「曲水流觴」 春日井秀大 画	
ローケース③	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 出雲 松江城	島根県		「舞妓」 渋谷和子 画	
	肥後 熊本城	熊本県		「大文字」 渋谷和子 画	
	長門 萩城	山口県		「伏見稲荷の初午」 黒崎彰 画	
	讃岐 高松城	香川県		「清水寺」 稲垣稔次郎 画 昭和30年代	
ローケース④	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 播磨 竜野城	兵庫県		「絵馬と上賀茂神社」 岸田竹史 画	
	備前 岡山城	岡山県		「嵯峨の竹」 芹沢銈介 画	
	丹波 篠山城	兵庫県		「祇園新春」 岸田竹史 画	
	播磨 姫路城	兵庫県		舞妓手拭 昭和初期	さくら井屋製
ローケース⑤	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 近江 彦根城	滋賀県		「庄野」 安藤広重 画	
	摂津 高槻城	大阪府		「瀬川菊之丞と中島智右衛門・中村此蔵」 東洲斎写楽	いざよい会
	会津 若松城	福島県		「凱風快晴図」 葛飾北斎	いざよい会
	近江 安土城	滋賀県		「うしろ面」 鳥居清信	いざよい会
ローケース⑥	城郭画家 荻原一青の百名城手拭 信濃 松本城	長野県		「阿波鳴門之風景」 安藤広重	いざよい会
	信州 松代城	長野県		「蒲原」 安藤広重	いざよい会
	陸奥 弘前城	青森県		「名所江戸百景 大はしあたけの夕立」 安藤広重	いざよい会
	武蔵 江戸城	東京都		「白襦袢の太夫」 喜多川歌麿	いざよい会
壁面 ケ ー ス ③	「女丈夫」 昭和初期	百いろ会	「六玉川の内 萩の玉川」 喜多川歌麿	いざよい会	
	「化粧」 歌川国景 画 昭和初期	百いろ会	「海女」 喜多川歌麿	いざよい会	
	「手燭」 都鳥会 昭和初期		「美南見十二候図」 鳥居清信	いざよい会	
	「女湯」 井上文化手拭店 昭和4年		「六代目団十郎」 歌川豊国	いざよい会	
	「黒舟屋」 竹久夢二 画		「婦女図」 懐月堂末葉慶秀	いざよい会	
	「忍び足」 小村雪岱 画 昭和初期		平ケース	はっぴ形手拭・財布手拭・本形手拭	
	「行水」 小村雪岱 画 昭和初期		そ の 他 壁 面	「牧場曙」	
	京名所十景「三条大橋」 昭和7年頃	さくら井屋製		「浪花十六橋の図」	
	京名所十景「円山」 昭和7年頃	さくら井屋製		「国会議堂」	
	京名所十景「御所」 昭和7年頃	さくら井屋製		「横浜海岸鉄道」	
	京名所十景「西本願寺」 昭和7年頃	さくら井屋製	展示室前	「屋島土産・鬼ヶ島」	
	京名所十景「金閣寺」 昭和7年頃	さくら井屋製	ガラ ス ケ ー ス	「だるま」 昭和62年	
京名所十景「平安神宮」 昭和7年頃	さくら井屋製		「子孫繁栄 五穀豊穰 商売繁盛」		

※資料は全て佐野恵美子氏所蔵品